

Planning and CoordinationMACHINE TIME EXECUTIONREPORT ( 2001-4-1 CYCLE)

Experimental Group	T493	Reporter	吉田 (山形大)
Scheduled Period and Shift	11/15 9:00 - 11/22 9:00 20Shifts	Main, Sub, Para	Para
Experimenters 吉田、田島、有賀、板谷、針生、森谷、山本、吉田 他			
<p>SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS</p> <p><math>\pi</math> 2 ビームライン上に以下の4種類の無機結晶検出器を置き電子・ハドロンに対する応答特性についての実験を行った。 PbF<sub>2</sub>, CeF<sub>3</sub>, PWO<sub>4</sub>, Bi<sub>4</sub>Si<sub>3</sub>O<sub>12</sub></p> <p>使用エネルギー 1.0~3.5 GeV/c (Negative &amp; Positive Beam)          粒子識別 ガスチェレンコフ2段          スリット 左右とも10~20mm          入射エネルギーの較正 Positive BeamのTOFを利用          電荷量の較正 LEDパルスなど          PMT Gain ハドロンデータから行った          トリガー チェレンコフの同時係数でe trigger          チェレンコフのOR vetoでHadron trigger          DAQ NIM+CAMAC+PC(Linux)</p> <p>以上、PbF<sub>2</sub>に関しては性能評価に必要な統計量のデータを得ることができた。他の結晶に関して、PbF<sub>2</sub>との比較データを取得した。</p>			
<p>EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc.</p> <p>11/18 3:00頃Q3電源のヒューズ故障 復帰は10:00頃になった。 (後にビームタイムを補償していただいた。)</p>			
<p>COMMENTS</p> <p>ビームライン電磁石のコントローラが制御不能になったことがあった。復旧に際して、直接ビームチャンネルのスタッフを探してお願いしてしまった。正規の手続きを踏むべきであった。</p>			